

沼津の魚を運べ!!

沼津市は駿河湾の湾奥に位置しており、海沿いの村では古くから漁業を行ってきた。ここでは、マグロやタイなど駿河湾で育まれた豊かな魚介類が捕獲されてきた。

一方で、江戸時代は街道の宿駅や廻船の経由地として、明治時代に入ると鉄道の駅として、沼津は海産物を交易する商都の顔も持ち合わせている。

江戸開府から現代までの4世紀近くの歴史の中で、沼津における海産物の輸送・交易の進歩・発展を見ることができる。

本企画展では、歴史史料や国指定重要有形民俗文化財「沼津内浦・静浦及び周辺地域の漁撈用具」を中心に沼津の海産物の輸送・交易の歴史をたどっていく。

展示構成

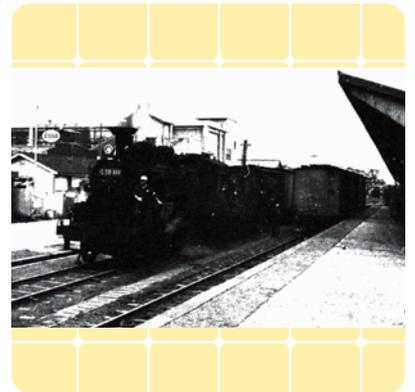
1. 江戸時代における海産物の輸送・交易
 - 1-1 静浦・内浦の活鯛
 - 1-2 江戸へ運ばれた魚
 - 1-3 甲州へ運ばれた魚
2. 近代以降における海産物の輸送・交易
 - 2-1 鉄路を走る魚
 - 2-2 イワシの交易
 - 2-3 ポテーさん、走る・・・魚の行商



東海道で魚を運ぶときに使われた通行札の図...



山越御印鑑之図
稲村直彦氏所蔵
沼津市明治史料館保管



沼津港から海産物を運んだ貨物支線...



蛇松線（沼津港線・臨港線）
加藤雅功氏撮影

活鯛を江戸に運ぶ船に揚げられた...
御本丸西御丸御膳御用籠
稲村直彦氏所蔵
沼津市明治史料館保管



カツオ釣りの餌イワシを運んだ...



カサネイキヨ
沼津市歴史民俗資料館所蔵



ポテーさんが魚を売り歩くために使った...



カツギカゴ
沼津市歴史民俗資料館所蔵

魚の輸送に使われた容器...



サカサダル
沼津市歴史民俗資料館所蔵